

基本情報



【年 齢】
34歳
【出身地】
福岡県久留米市
【転出元】
福岡県久留米市
【前 職】
飲食業
【活動時期】
R6.6～

協力隊に応募したきっかけ

長年、飲食業に従事する中で包丁に興味を持っていました。とりわけ近年のインバウンド需要の高まりを受け、外国人観光客に日本の包丁が人気であることを知り、彼らにより丁寧に日本の包丁や鍛冶の文化を説明できるよう、改めて勉強する機会を探していたところ、地域おこし協力隊の活動を知りました。単に伝統技術について教えるだけでなく、こちらからも接客業での経験も活かして貢献できるのではと考え、応募をしました。

今後の抱負・任期後の目標

三条鍛冶道場に常駐する元職人の指導員さんや、活動を支援する現役職人の皆さんは、ものをつくる大先輩ではありますが、一般人への体験指導は試行錯誤を重ねている状況です。鍛冶技術を教えていただきながら、自分の接客業や海外滞在での経験を生かして、より魅力的な体験講座を構築していきたいです。特に、海外の方により興味を持ってもらえる工夫を重ねていきたいです。任期後には、特に海外の方に向けて、日本の鍛冶技術を発信できれば面白いと思っています。

活動内容

●三条鍛冶道場 常設講座の改善

三条鍛冶道場では従前から、鍛冶の世界の入口を身近に体験してもらうため3種類の常設講座を実施しています。海外観光客を中心に、より鍛冶の魅力が伝わるにはどうすればよいか、日々、試行錯誤を繰り返して工夫しています。また、高齢化が進む指導スタッフ補充のため、育成方法を検討しています。



●三条鍛冶道場 鍛冶技術体験イベント講座運営の支援

三条鍛冶道場では現役鍛冶職人を講師に迎え、本格的な鍛冶技術を体験できるイベントを実施しています。これらの鍛冶技術は一朝一夕で身に付くものではありませんが、運営補助をしながら技術を学び、新しい講座のヒントを探るとともに、技能継承を受ける目線から職人育成の課題を掘り下げています。



●三条鍛冶道場 新規講座の開発

常設講座の体験者や、指導に来る鍛冶職人など、多くの人の意見を聞きながら、より魅力的な新しい鍛冶体験講座が出来ないか検討を進めています。現在、常設の包丁研ぎ体験と、イベント的な包丁づくり体験の中間的な包丁の仕上げ体験の可能性を具体的に検討しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(職場)) kaji@city.sanjo.niigata.jp
(電話番号(職場)) 0256-34-8080

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
note 三条で暮らす。
<https://sanjo-city.note.jp/m/mebbc070894b4>